

福島第一原子力発電所の現状について

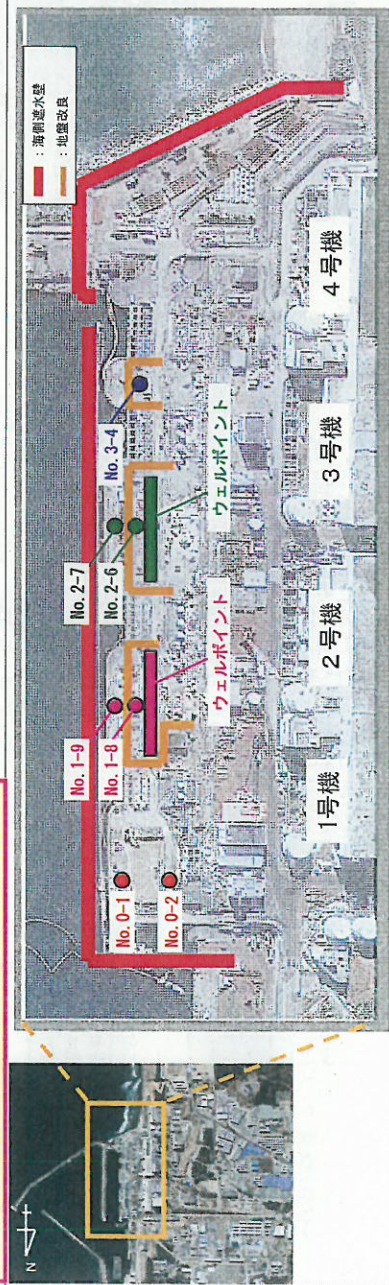
資料3-3-1

平成26年9月9日
東京電力株式会社

(1) 護岸エリアの汚染状況と対策の進捗

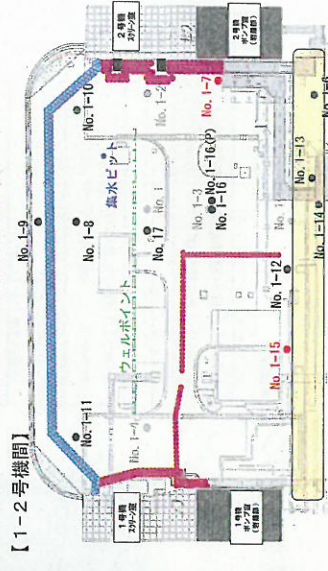
- 護岸付近の地下水観測孔や発電所港湾内の水の分析結果から、汚染水が海に流出していることを確認いたしました(平成25年7月)。
- 汚染水の現状を踏まえ「抜本対策」と「緊急対策」をあわせて実施します。また、引き続きモニタリングを行い影響を確認し、公表いたします。

敷地内地下水のモニタリング状況

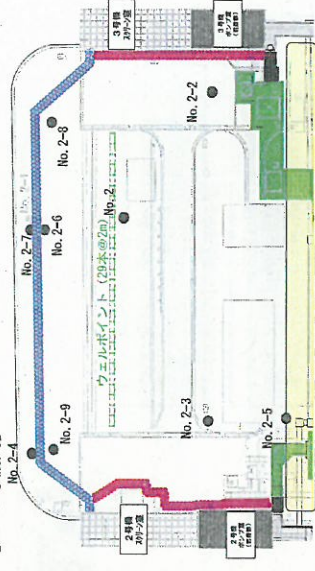


地盤改良工事の進捗状況

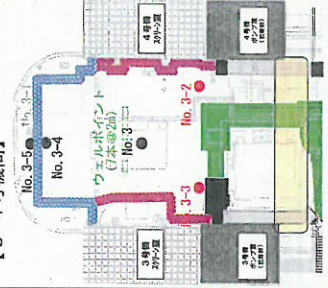
全号機間において海側完了・山側着手済み。



【1-2号機間】



【2-3号機間】



<凡例>
●: 海側施工完了箇所
●: 山側施工完了箇所

※施工範囲・工程は環境状況により変更の可能性あり
※黄色でマスキングしたエリアの地盤改良箇所については、今後検討

無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

<水質測定結果(抜粋): 括弧内は採取日>

(単位: ベクレル/リットル NDは検出限界値未満)

No. 0-1	セシウム137: 58(8/10) 全ベータ: 170(8/10) トリチウム: 3,200(8/10)
No. 0-2	セシウム137: ND(8/10) 全ベータ: ND(8/10) トリチウム: 630(8/10)

No. 1-9 (地盤改良部分より海側)	セシウム137: 9,2(8/14) 全ベータ: 26(8/14) トリチウム: ND(8/12)
No. 1-8	セシウム137: 25(8/11) 全ベータ: 15,000(8/11) トリチウム: 14,000(8/11)

No. 2-7 (地盤改良部分より海側)	セシウム137: 1,8(8/15) 全ベータ: 950(8/15) トリチウム: 800(8/13)
No. 2-6	セシウム137: 0,50(8/14) 全ベータ: 2,200(8/14) トリチウム: 930(8/12)

Well Point 137: 20(8/11)	全ベータ: 360,000(8/11) トリチウム: 59,000(8/11)
---------------------------------	--------------------------------------------

Well Point 137: ND(8/13)	全ベータ: 110,000(8/13) トリチウム: 8,300(8/10)
---------------------------------	-------------------------------------------

No. 3-4	セシウム137: 13(8/13) 全ベータ: 46(8/13) トリチウム: ND(8/6)
----------------	-------------------------------------------------------

【参考】法令示濃度(単位: ベクレル/リットル)
セシウム137: 90
トリチウム: 60,000

1-2号機間・2-3号機間の地下水の値は、海側に行くに従って減少しており、Well Point・地盤改良等の対策効果が現れていると考えられています。

(2) 海域モニタリングの状況

港湾内（シルトフェンス外側）・港湾境界付近・周辺海域の海水中濃度はほぼ検出限界値未満で影響は限定的です。また、前回ご報告時と比べ、有意な変動は見られません。

○港湾内における海域モニタリング地点 ※（ ）内日付は採取日 ※単位：ベクレル/リットル

○分析項目および測定頻度

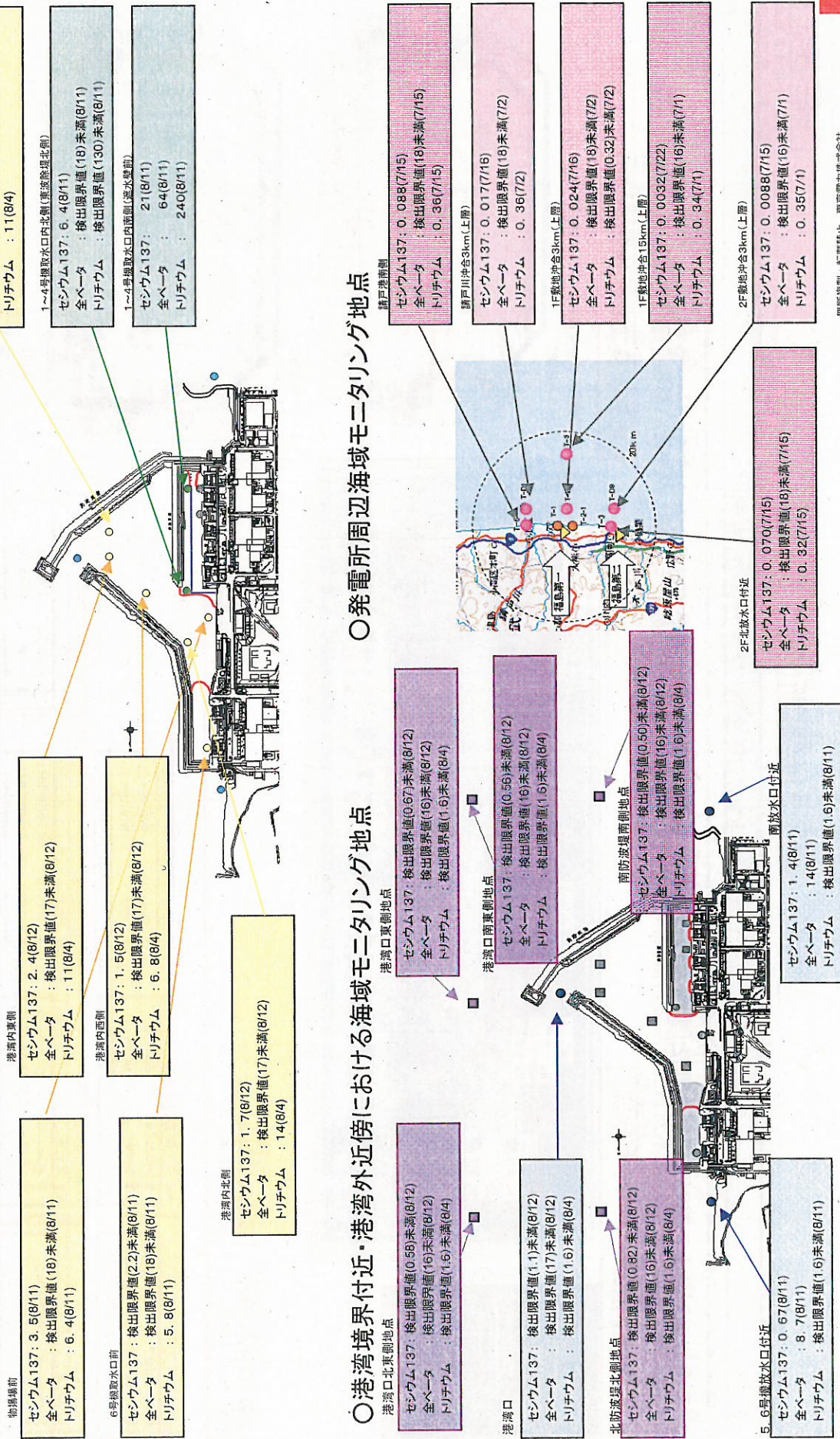
・トリチウム、セシウム、全ベータ：1回/週

・ストロンチウム：1回/月

● 海洋への影響をモニタリング

○ 港湾内の放射能濃度の分布をモニタリング

● 港湾内への影響をモニタリング（地点抜粋）



○港湾境界付近・港湾外近傍における海域モニタリング地点

○発電所周辺海域モニタリング地点